

# 都市再生整備計画(第6回変更)

しなのまつかわえきしゅうへんちく  
信濃松川駅周辺地区

ながのけん まつかわむら  
長野県 松川村

平成23年 3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

|       |                     |      |                     |     |           |    |        |
|-------|---------------------|------|---------------------|-----|-----------|----|--------|
| 都道府県名 | 長野県                 | 市町村名 | 松川村                 | 地区名 | 信濃松川駅周辺地区 | 面積 | 480 ha |
| 計画期間  | 平成 18 年度 ~ 平成 22 年度 | 交付期間 | 平成 18 年度 ~ 平成 22 年度 |     |           |    |        |

### 目標

- 目標:村中心地域として交流・文化・教養の拠点の創出を図るとともに、住民及び観光客の交通の利便性向上を図る。
- 1) 交流・文化・教養の拠点として多目的交流センターなどの施設整備を行い、希薄化が進む地域コミュニティ活動が活発化するよう積極的に支援する。
  - 2) 駅や役場を中心とした公共・公益施設及び観光拠点への交通アクセスの利便性の向上を図る。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- 松川村は、米どころとして農業を基幹産業とする農村であった。その後安曇野らしい田園風景と緑あふれる美しい自然景観などの住環境によって住宅化が進み、現在では県内屈指の人口増加率を示している。
- 当地区は、村の中心的機能としてのJR信濃松川駅をはじめ、村役場、小学校、北保育園、郵便局など公共・公益施設が立地しているが、地域住民のコミュニティ・文化・教養の拠点としての整備が遅れており、特に転入者からは地域交流を図るための施設建設を望む声が高まっている。
- 当地区は平成13年度に策定した「松川村土地利用調整基本計画」(全村を9のゾーンに区分)において「生活居住ゾーン」に位置付け、住環境として良好な環境を確保し、より良い生活環境を形成するゾーンとして主に住宅や一般小売店の立地を誘導している。また、同年度に策定した都市計画マスタープランにおいても「生活エリア」として位置付け緑豊かな住宅地の形成を図ると共に、宅地と商業・工業施設用地などが混在しないようそれぞれ誘導する方針を示している。
- 当地区は安曇野の特徴的な田園風景が残る極めて恵まれた自然環境を有し、平成6年に「温泉施設すずむし荘」平成9年に「安曇野ちひろ美術館」がそれぞれオープンしたことにより、それまで見られなかった年間約60万人の“観光客”が松川村に訪れるようになった。基幹産業を農業として発展してきた村にとっては、道路や地元住民との交流スペースなどが整備されておらず、観光客の受入体制の遅れが目立っている。
- 駅東側地区については、近年急速に宅地造成や共同住宅の建設が増加しており、この地域における過去5か年の人口増加率は4.7%で周辺地域や他市町村と比較しても急激な増加を示している。このため住宅地内の道路など住環境整備が追いつかず狭隘路や安全対策の遅れが懸念されている上、道路事情に不慣れな観光客の流入により周辺道路整備が急務とされている。
- 近く開園予定の「国営アルプスあずみ野公園」の整備により、新たな観光客の流入が予想されている。
- 地域コミュニティの希薄化の改善と文化教養面の向上を目指し、文化教養活動の交流拠点として施設整備計画を住民自由参加型のワークショップを開催し検討している。

#### 課題

- 急速に宅地造成や共同住宅の建設が行われ人口が増加している当地区の狭隘道路の改善や安全対策を行い、日常の買い物や通勤、小中学生が安全に交通できるよう地域の交通利便性を高める必要がある。
- 転入者の流入による地域コミュニティの希薄化が懸念されてきているため、文化・芸術を通じての交流の場を設けて、多くの住民が集い交流を深めることにより地域コミュニティの再構築を図る必要がある。また、観光客と地域住民が交流できるスペースの確保が必要である。
- 信濃松川駅や役場を中心として、安曇野の自然や景観を楽しみながら安全に各公共施設や文化交流施設、公園などを歩いて回れる道路整備が必要である。
- 当地区周辺には数多くの自然体験ができる場所が点在しているとともに、今後開園予定の国営アルプスあずみ公園の玄関口として、中央道豊科IC～県道(オリンピック道路)を利用した観光客が安全でわかりやすく周辺観光ができるようルートの整備が必要である。
- 本地域には書店が一軒もなく住民の多くから文化教養の拠点施設として図書館建設への要望が出されている。図書館を地域交流施設と一体的に整備を行うことで、文化芸術団体や地域づくり団体などの交流拠点として充実を図ると共に、住民の文化教養の拠点として整備が必要である。

#### 将来ビジョン(中長期)

##### 未来を見つめ、緑と光輝く村づくり

- 松川村第5次総合計画では、人口の増加や経済活動の高まりに対応するため、良好な市街地の形成と基盤整備を推進するとしている。
- 松川村都市計画マスタープランでは、「生活エリア」として位置付け緑豊かな住宅地の形成を図ると共に、宅地と商業・工業施設用地などが混在しないようそれぞれ誘導する方針を示している。また、拠点の形成として地域住民及び来訪者が利用しやすく、商業の発展や生活環境の充実を図れるような拠点づくりを形成していくとし、地域の特性と将来の方向性をふまえ、集積度の高いところなど各機能の分担を明確にした場所に配置するとしている。本地域は中心拠点と位置付け、村の中心地として賑わいのある拠点づくりを進めるため、歩道や広場の整備、商業施設の充実を図ると共に、住民の集う場としての空間を整備したり、地域活性化の拠点としての機能の充実を図るとしている。

### 目標を定量化する指標

| 指 標           | 単 位 | 定 義                          | 目標と指標及び目標値の関連性                                       | 従前値    | 基準年度 | 目標値    | 目標年度 |
|---------------|-----|------------------------------|--|--------|------|--------|------|
|               |     |                              |  |        |      |        |      |
| 文化の香るむらづくり    | 人/年 | 地区内文化施設年間利用者数                | 多目的交流センター等の整備による利用者数の25%向上を目指す                       | 27,873 | H16  | 34,800 | H22  |
| 同上            | 回   | 地域住民による文化イベント開催回数            | 多目的交流センター等の整備による文化交流イベントの開催数を向上させ、社会教育団体等の活動の活発化を目指す | 62     | H16  | 80     | H22  |
| 観光資源を生かした地域振興 | 千人  | 観光入込み客数                      | 観光施設及び村へのアクセス向上による来訪者数の増加を目指す                        | 600    | H16  | 650    | H22  |
| 観光アクセス道路安全度   | %   | 周辺観光施設へのアクセス道路の安全度(アンケートによる) | 公共・公益施設及び観光拠点へのアクセス道路を整備し、地域住民及び観光客の安全度の向上を目指す       | 10     | H16  | 50     | H22  |

## 都市再生整備計画の整備方針等

| 計画区域の整備方針   | 方針に合致する主要な事業  |
|---|---|
| <p>整備方針1(コミュニティ環境整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的交流センター及び図書館を一体的に整備し、住民の交流・文化・教養の拠点とするとともに、観光客との交流の空間を整備する。</li> <li>・多目的交流センターを中心とした村内交流スペースの有効活用・利用促進に関して、住民主体のワークショップ形式で検討を行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的交流センター整備事業(基幹事業)</li> <li>・情報サイン設置事業(基幹事業)</li> <li>・図書館建設整備事業(提案事業)</li> <li>・多目的交流センター・図書館駐車場整備(基幹・提案事業)</li> <li>・松川中央公園整備事業(関連事業)</li> </ul> |
| <p>整備方針2(地区内交通アクセスの整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道である県道から周辺観光拠点への交通アクセスの利便性向上を図るため、道路改良整備を行う。</li> <li>・住宅地内生活道路と観光のための来訪者が交差する道路(交差点)の安全性の向上と利便性の向上を図る。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・村道1-4号線改良事業他10路線(基幹事業)</li> <li>・村道1-10号線交差点改良事業(基幹事業)</li> </ul>   |
| <p>その他</p>  |   |

